

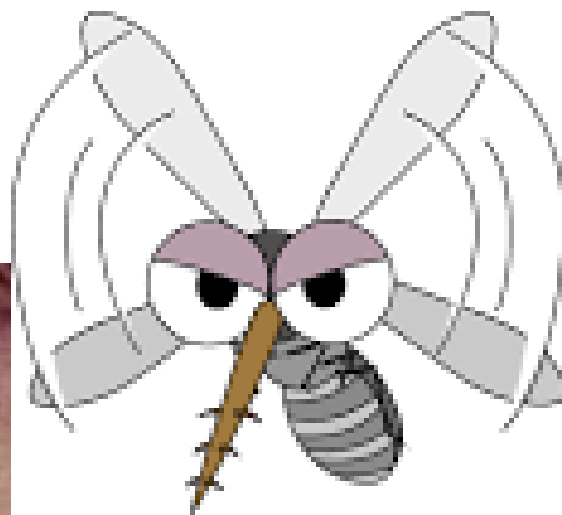
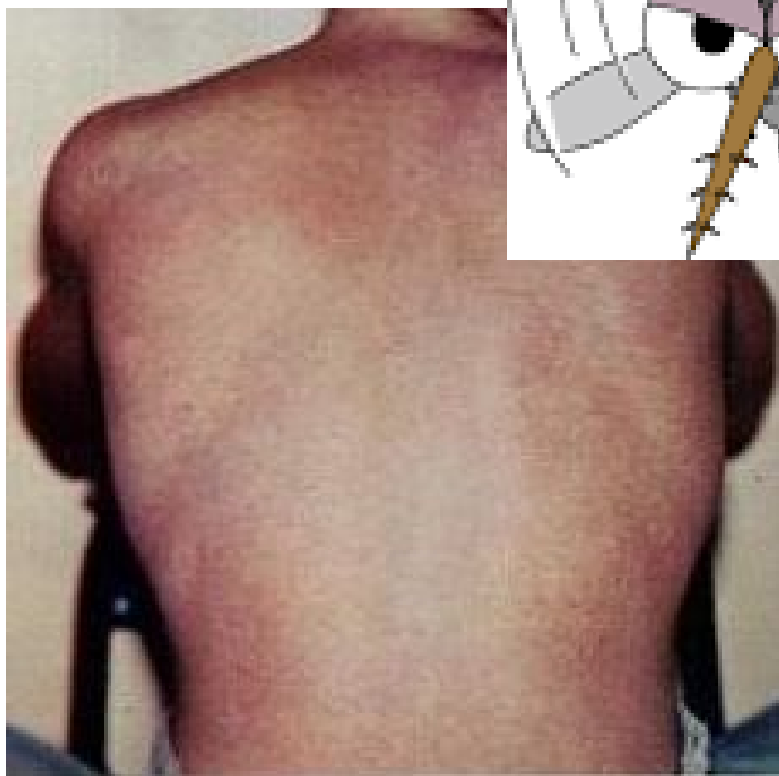
# 大切な木を守る

(株) 砺波造園土木  
堀 浩 一



2012年 大山町

# デング熱





# 2013年 新聞掲載

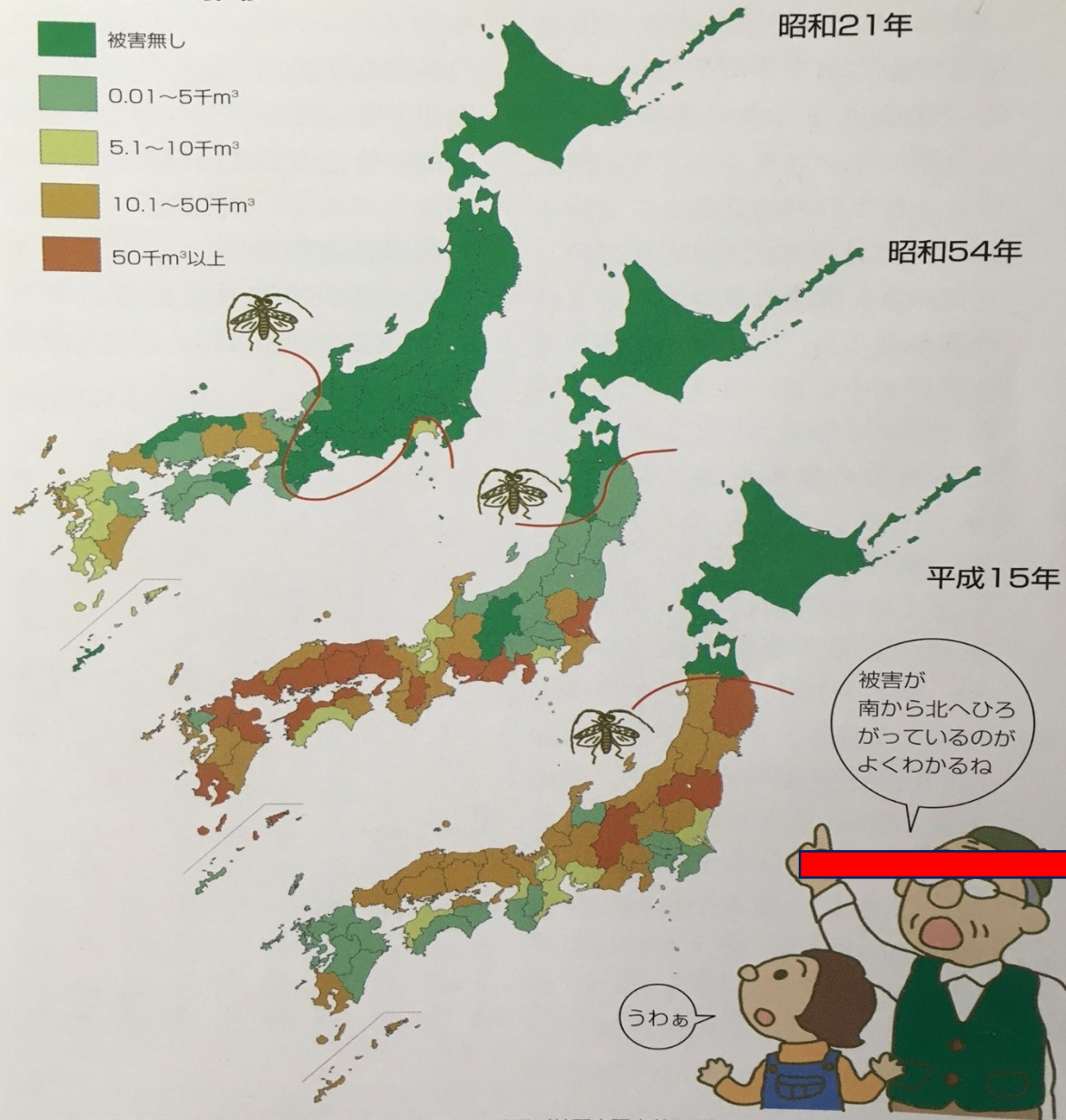
## “マツ枯れ 例年の2倍超”





# 被害材積量の推移

- 被害無し
- 0.01~5千m<sup>3</sup>
- 5.1~10千m<sup>3</sup>
- 10.1~50千m<sup>3</sup>
- 50千m<sup>3</sup>以上



出典／昭和21年：都道府県別松食虫による松樹被害状況（林野庁研究普及課）  
昭和54年・平成15年：森林病虫害等防除事業の概要（林野庁森林保護対策室）  
昭和21年の被害は、マツ材線虫病による松枯れ以外の松枯れも含む。

## 富山県は。。。



## マツノザイセンチュウにより枯死したアカマツの樹木

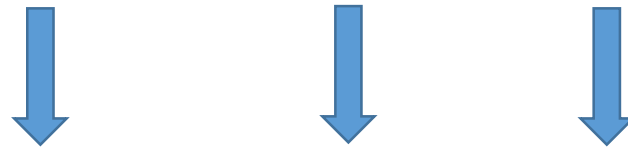
本来、森の中の松は、その葉が落ち、堆積することで土壌を豊かにしてくれる。  
土壌が改良されることで森の中でも育つ木々が増えていき、生態系を豊かにする。

### マツノザイセンチュウ（松の材線虫）

マツノマダラカミキリの体の中に入った線虫が幹や太い枝と食害、枯らす。

原因の一つとして、地球温暖化よるものともみられている。

富山県にも発生している樹木の病気

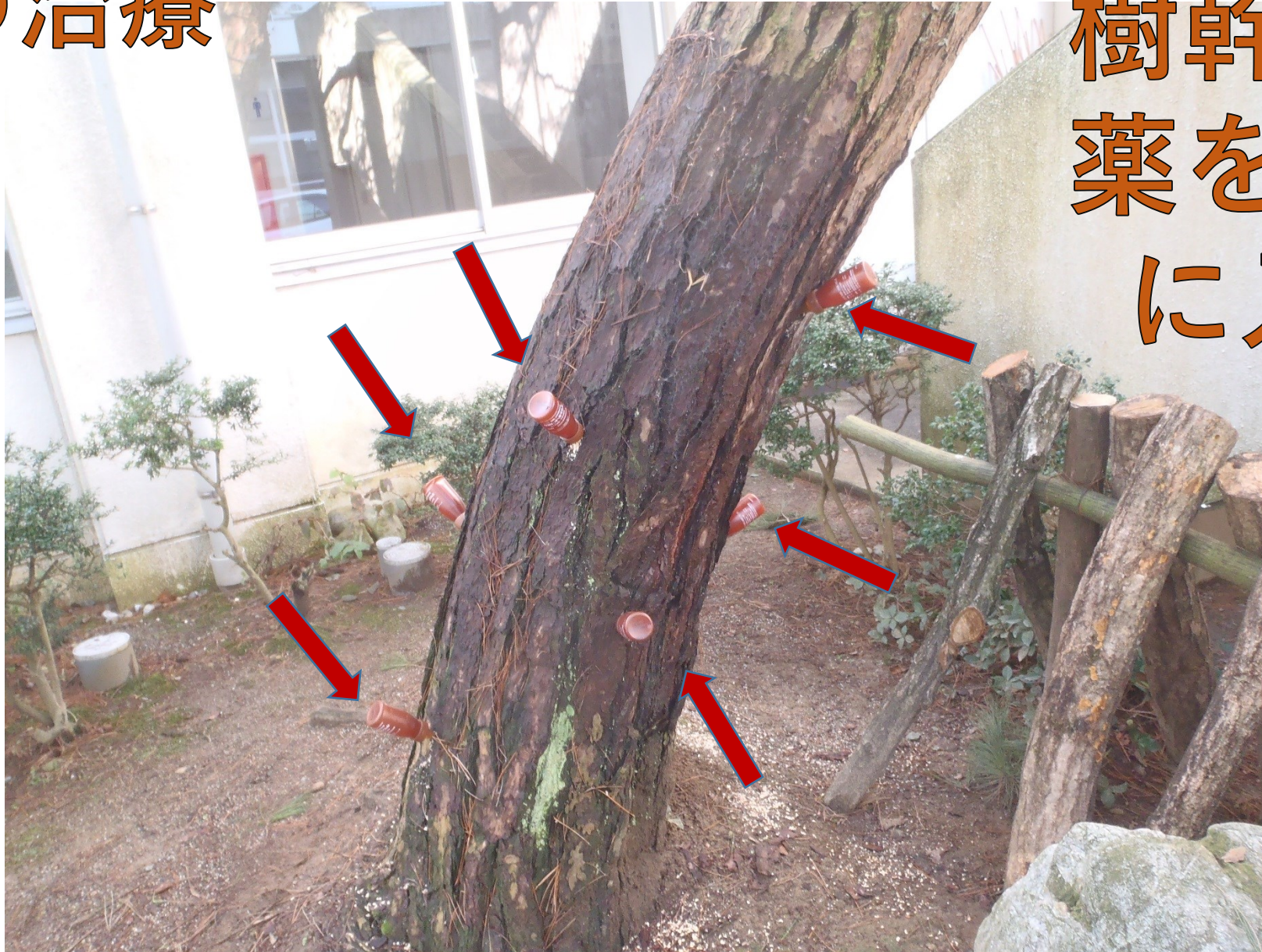


**病気の拡大を防ぐために治療が大切！**



大切な木を守る

# マツの治療



樹幹注入で  
薬を強制的  
に入れる



マツの葉が変色し、やがて枯れ落ちる





# 薬剤散布

病気の広がりを抑えるため、  
殺菌剤を年に数回散布してま





葉が変色し、落葉して葉量が減少



新芽が出てくる



Before (H25年)

治療



After (H27年)





樹木医とは





# 樹木治療

害虫や老齡により病気になった樹木の治療をし、**樹木本来の樹形、生育を促す**ことを目的とする。





# 花と緑の銀行だより

195号 2015.5



タイトル：「東橋と桜」 撮影場所：内川（射水市）

## 目次

- ・花と緑の提言（「射水市の花と緑のまちづくりについて」（射水支店））……………2
- ・活動事例（「花のまちづくりでひとつになる」南砺市を目指して」（南砺支店））…3
- ・技術講座（魅力的な花壇づくり1）……………4
- ・技術講座（富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン②）……………5
- ・緑づくりコーナー（庭木に利用する樹種の特徴と管理—ヤマブキ—）……………6
- ・この人あり（「神社旧跡に花壇を設置」（魚津支店））……………7
- ・情報コーナー（平成27年度花のまちづくりコンクール、花しょうぶ祭り）……………7

## 庭木に利用する樹種の特徴と管理—ヤマブキ—

日本樹木医会富山県支部  
樹木医 西村 正史

4～5月頃、新葉とともに黄色い花をたくさん咲かせる樹木があります。これは、古くから日本人に愛されてきた花木の一つであり、ヤマブキと言います（図1）。今回はこの花木を紹介します。

### 1. 特徴

バラ科ヤマブキ属の落葉低木です。この属にはヤマブキだけが含まれる一属一種です。北海道から九州まで分布しており、低い山の明るい林の木陰などに群生しています。枝は細くて柔らかく、背丈は1～2mで、株立ちするという特徴があります。明るい黄色の花を小枝の先端につけます（図2）。花びらは5枚で一重ですが（図3）、八重咲きの園芸品種、ヤエヤマブキもあります。これはヤマブキより少し遅れて咲きます。

### 2. 維持管理

樹形は自然にまともっていきますので、むやみに枝を切る必要はありません。植えてからだいたい5年くらい経過すると古い枝の勢いは弱ってきますので、そのような枝は根元から10cmほど残して切り落とし、若い枝の生長を促します。その他は、混み合った部分の小枝や枯れた枝を刈り込む程度にして、全体をばつさりと刈り込まないようにしましょう。翌春に咲く花芽は前年の夏に形成されますので、その後には枝を切ると花芽を切り取ってしまうことになりますので、翌年には花が咲きません。注意してください。

この樹木は、自然の状態では木漏れ日が差すような場所で、湿度の比較的高い沢沿いなどに自生していることから、あまり日射しの強い場所は好みません。そのため、庭に植える場合は西日や直射日光の当たらないような場所を避け、半日陰で、肥沃で、適度に湿っている場所に植えるようにしましょう。庭の土壌がやせているような場合には、土壌改良を行ってから植栽してください。寒さには強く霜に当たっても枯れることはありませんので、防寒対策をする必要はありません。

なお、ヤマブキによく似た花木にシロヤマブキがあります。この花木も庭木として利用されてい

ます。ヤマブキと異なる点は、花びらが4枚で純白であることと、ヤマブキ属ではなくシロヤマブキ属であることです。



図1 ヤマブキ（2013.4.12に撮影）



図2 開花間近のヤマブキの蕾（2012.4.19に撮影）



図3 ヤマブキの花（2011.4.26に撮影）

※写真はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。



# 県内の桜の調査





樹木医会の活動

## 松川の桜の樹木治療





# 県市町村国からの依頼調査



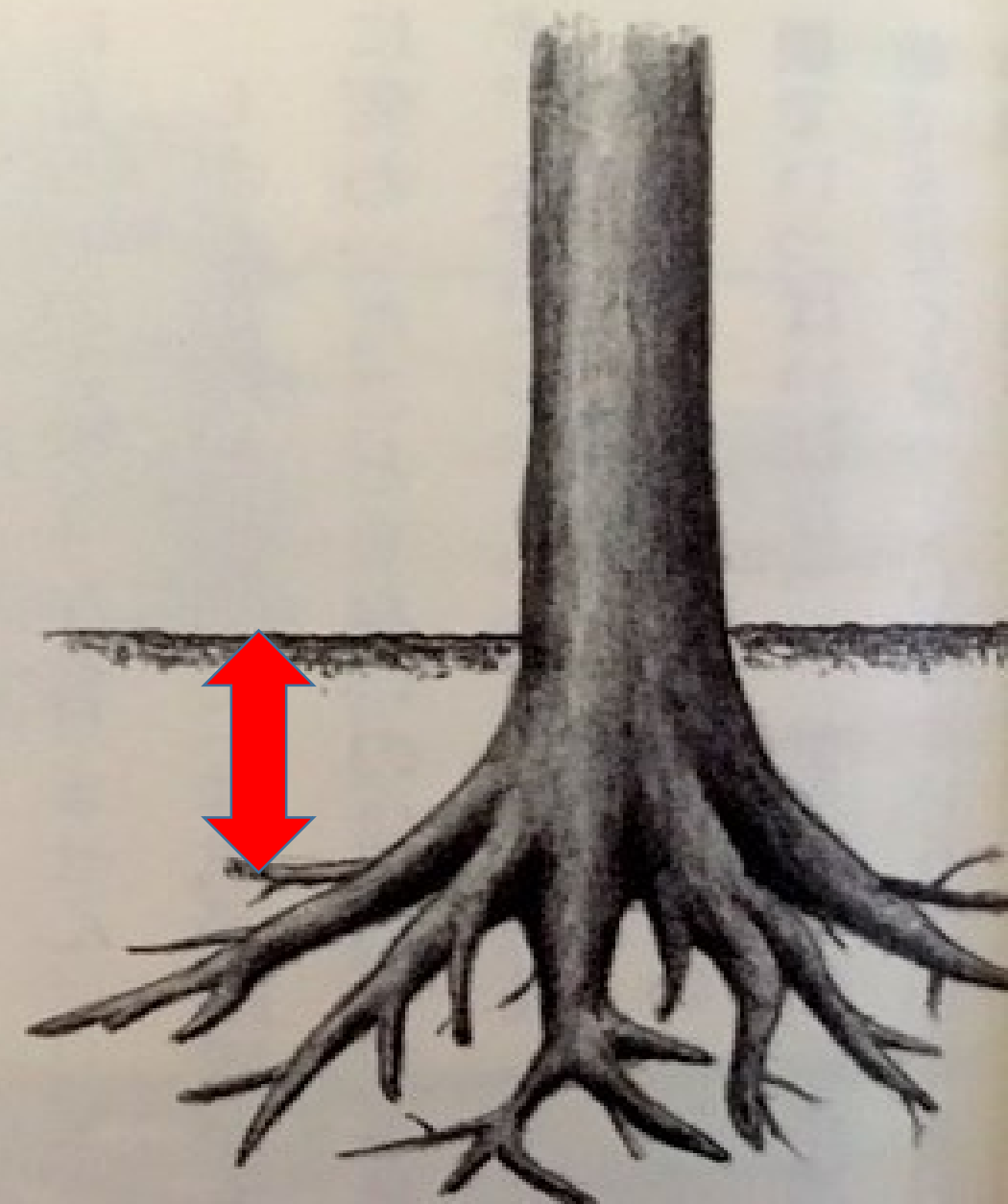
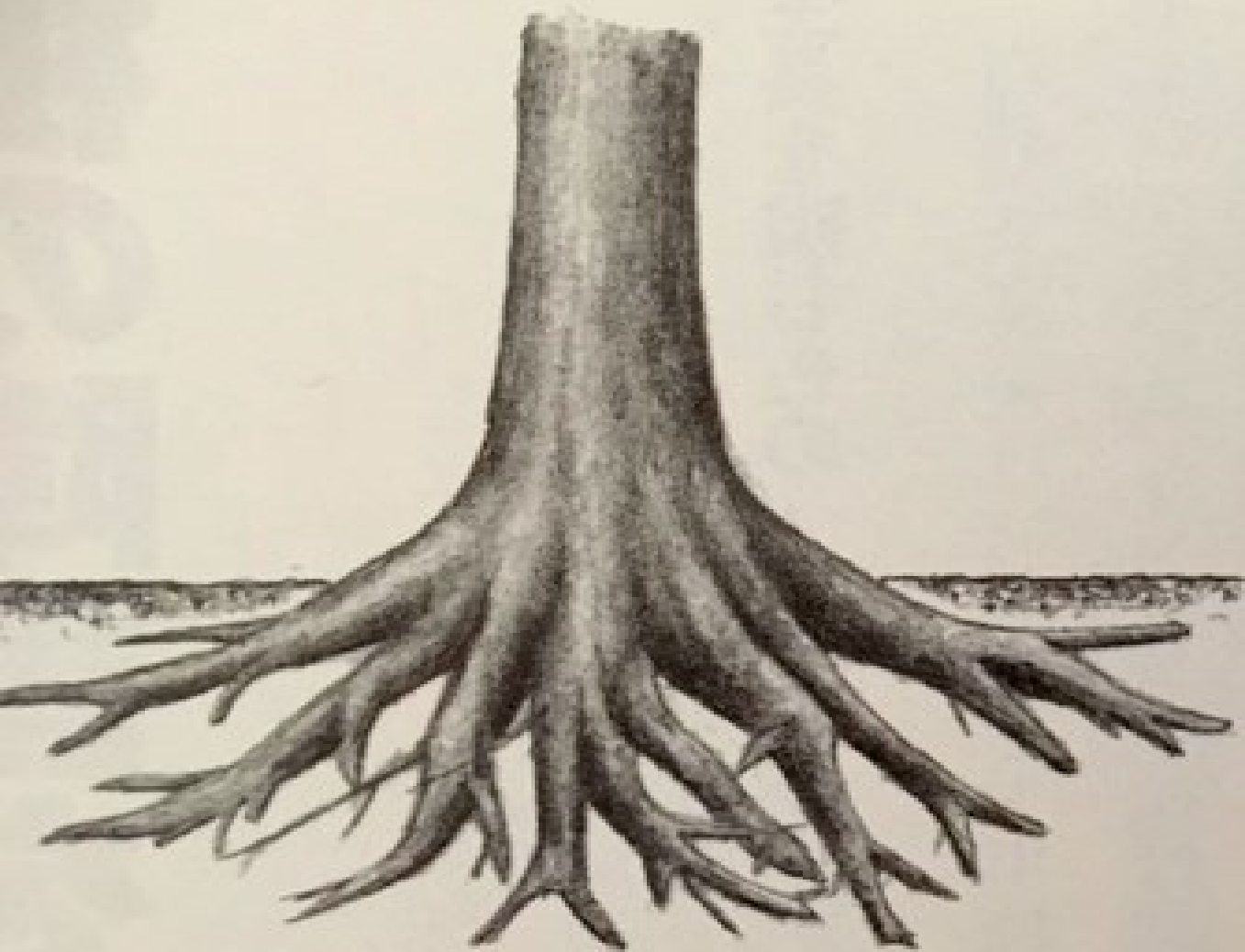


大切な木を守る

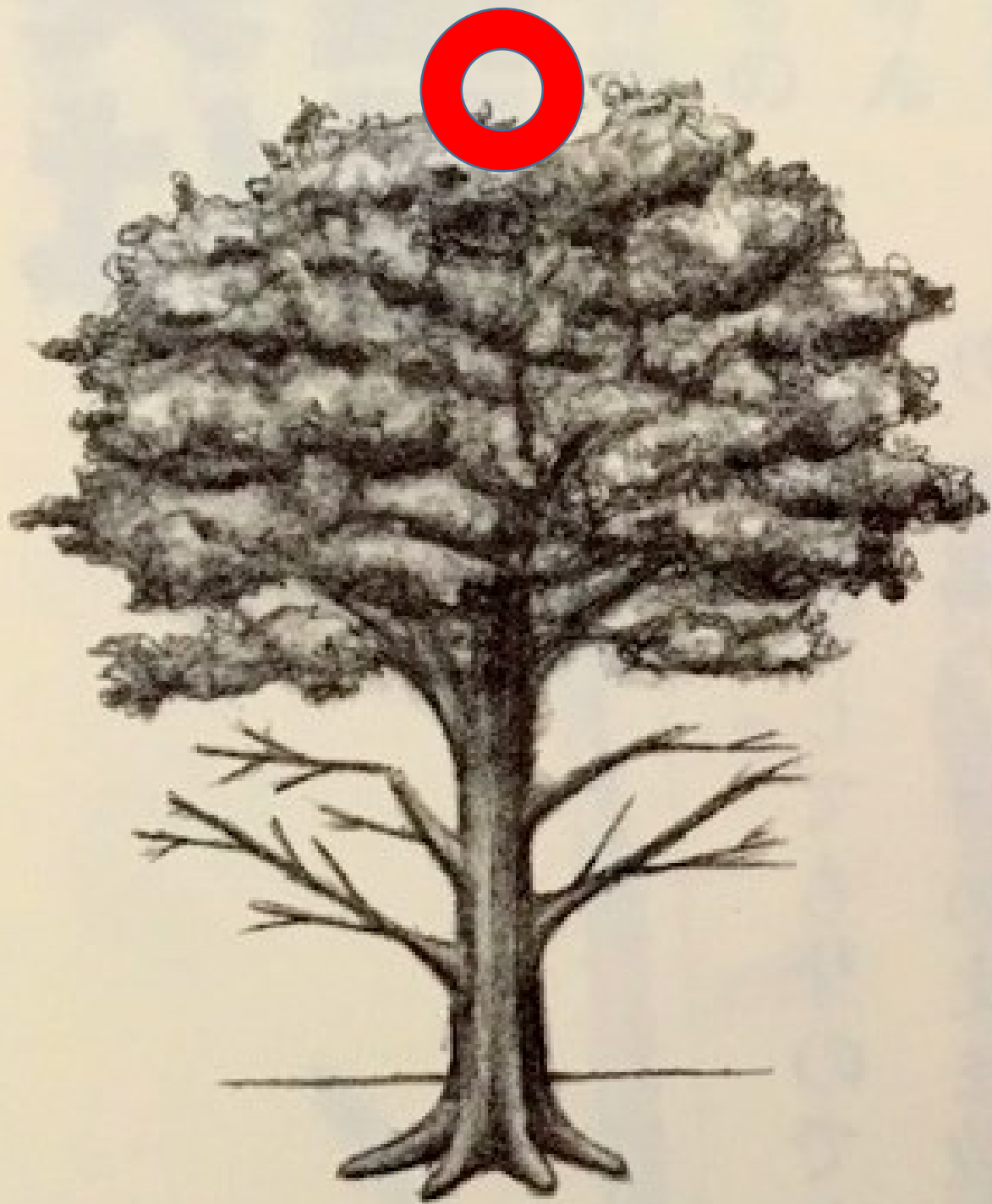
# 神社のスギの大木

## 盛土の除去











# 土壌の掘削

## 土壌の掘削





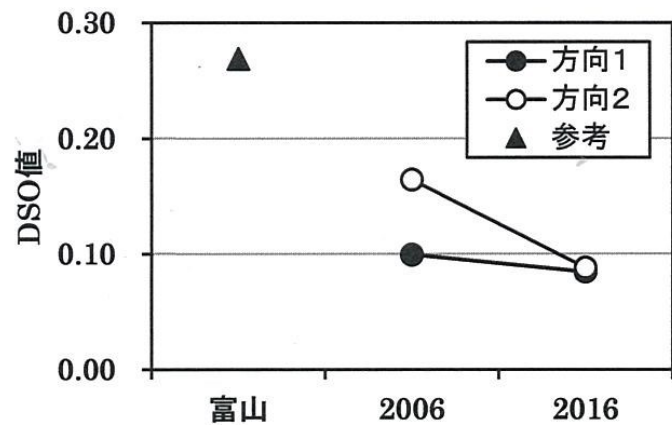
A large, ancient tree with a thick, gnarled trunk and dense green foliage stands in a residential street. The tree is the central focus, with its branches spreading out against a cloudy sky. In the background, there are several buildings, including a two-story house on the left and a larger, modern-looking building on the right. Power lines and a street lamp are visible in the foreground. The overall atmosphere is quiet and historical.

# 出町の大ケヤキ



砺波出町の大ケヤキの着葉密度(衰退度)の変化

	富山	2006	2016
方向1		0.0998	0.0849
方向2		0.1647	0.0883
参考	0.2688		



出町の大ケヤキのDSO値の変化



出町のケヤキ・方向1(2006.9.16)



出町のケヤキ・方向1(2016.9.10)



富山総合体育館のケヤキ(2015.8.4)



出町のケヤキ・方向2(2006.9.16)



出町のケヤキ・方向2(2016.9.10)



# 樹木総合調査・診断カルテ

## 1. 調査・診断者および調査・診断日

調査診断者	桐林(27).西村(211).松島(221).山本(393).野上(1079) 〇:樹木医認定番号			
調査・診断日	H18年	9月	16日	天候 曇のち小雨

## 2. 調査・診断対象樹木および所在地

樹木名	出町の大ケヤキ	樹木番号	(砺波市保存樹木)	図面番号
-----	---------	------	-----------	------

## 3. 樹形調査・診断

樹高	25	M	枝下高	1.35	M	胸高直径	221	cm
目通り周囲	695	cm	根元直径	225	cm	根元周囲	705	cm
根の状態								埋根

## 4. 樹勢調査・診断(成育状況)

葉の大きさ	大	・	普通	・	小	着葉量	多い	・	普通	・	少ない	葉の色	正常	・	異状	(緑黄色)	
枝枯れ	ある	[目立つ	%	・	目立たない	5%	・	なし									
成育状況	良い	・	やや良い	・	普通	・	やや悪い	・	悪い								

## 5. 維持管理・養生・調査・診断

保護柵の有無	有(樹木柵・丸柱柵・ロープ柵・バリケード・その他ニ脚鳥居)	・	無
過去の手入れ・剪定等の有無	有	・	無
その他 特記事項	H18.6:枯枝除去. H15:周辺整備(・道路修繕および水路変更)		

## 6. 成育周辺環境 調査・診断

周辺環境(工作物・施設物の有無)	有(石碑・東屋・花壇・ベンチ等)	・	無
下草	有	・	無
下草刈りの必要	有	・	無
その他特記事項	樹冠下周りには、H15年工事の際に山土砂により盛土が行われている。		

## 7. 病害虫(罹患・罹病) 調査・診断等

被害部位	葉	・	枝	・	樹幹	・	根
病害虫名	・北西側地上8.4mより12.3m位置の大枝において、樹皮が剥がれ、内部は材質腐朽を呈している。						
被害程度	・葉に白星病						
対策方法	・テントウムシ類幼虫						

その他	葉	・	枝	・	樹幹	・	根
土壌pH	・樹冠下において、簡易pHメーター測定値6.5						
土壌硬度	・根元より3m位置において、表土の土壌硬度を山中式硬度計で測定20						
	・根元より3m位置GLマイナス20cmにおいて、表土の土壌硬度を山中式硬度計で測定16~19						

その他	葉	・	枝	・	樹幹	・	根
根の状態	・根元より3m位置GLマイナス20cmにおいて、直径2mm程度の吸収根が確認されたが、褐変して枯れた状態を呈している。						

No.

枯枝剪定

廃材搬出状況



平成18年7月

枯枝剪定

廃材搬出状況



枯枝剪定

廃材搬出状況







写真タイトル：作業状況  
撮影箇所：出町けやき公園



工種：剪定工  
写真タイトル：養生状況  
撮影箇所：出町けやき公園



工種：剪定工  
写真タイトル：伐採枝  
撮影箇所：出町けやき公園

平成20年 7 月

# 枯れ枝の撤去

平成29年1月







枯れ枝



平成29年1月







平成29年7月14日



- ① 枯れ枝の進行が止まっていない
- ② 葉の数が増え、大きくなった



平成28年9月6日



平成29年7月14日



平成28年9月6日





平成29年7月14日



平成28年9月6日



平成29年7月14日撮影



何が原因で衰弱したのか？





50cm~100cm程度の盛り土  
在来の根は枯損している

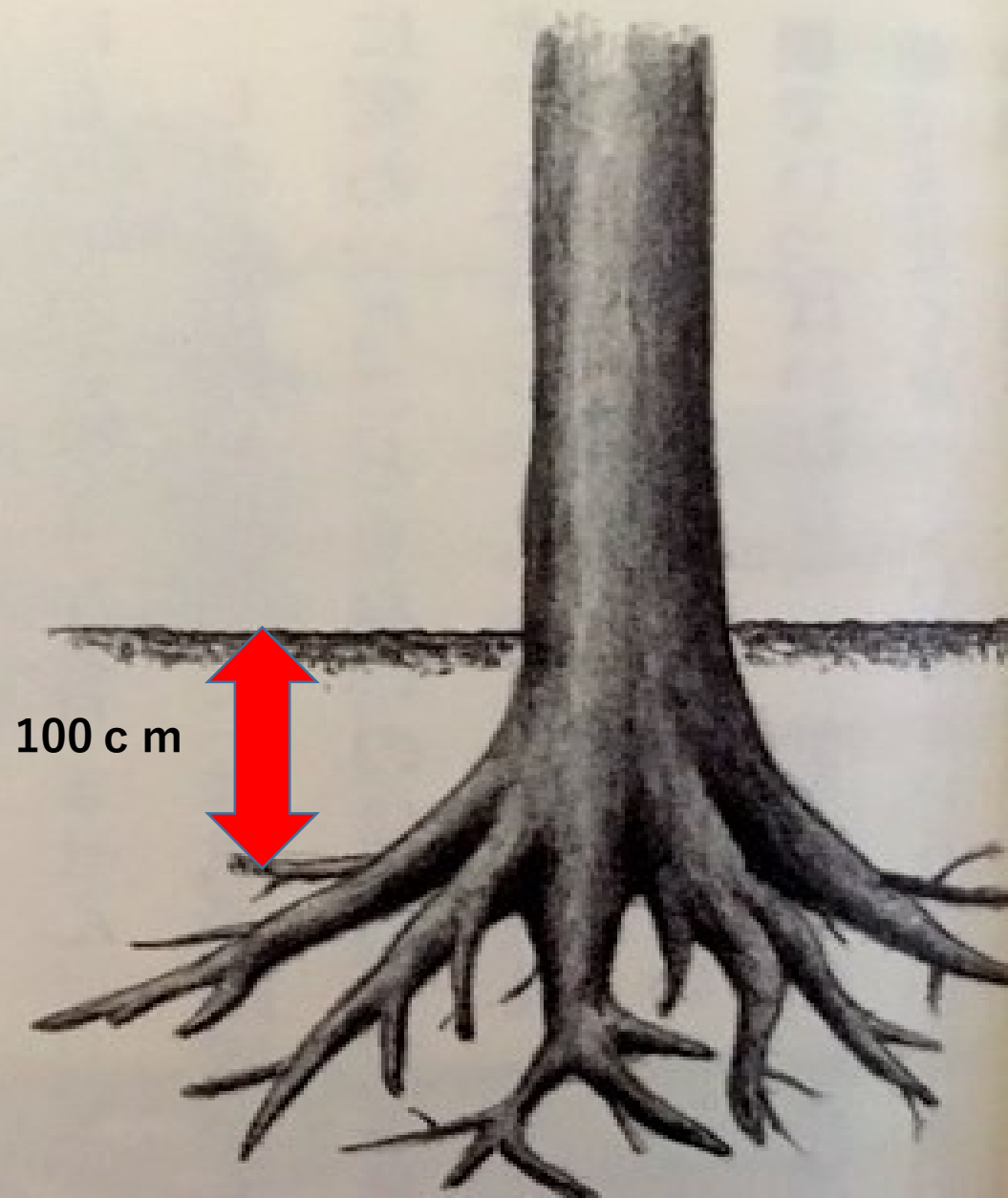
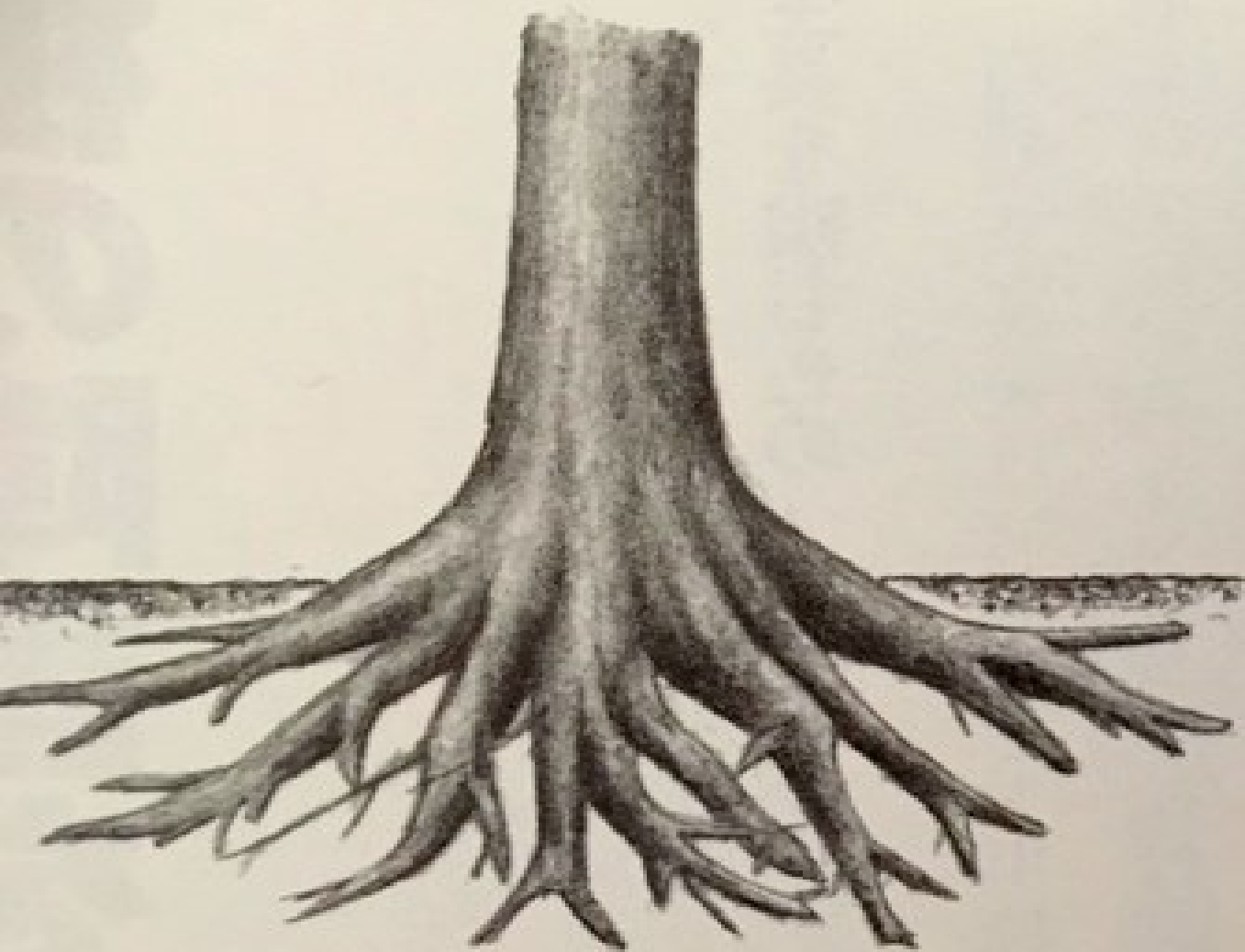




● ■  
健全な根

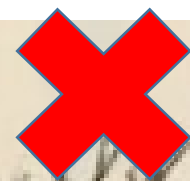
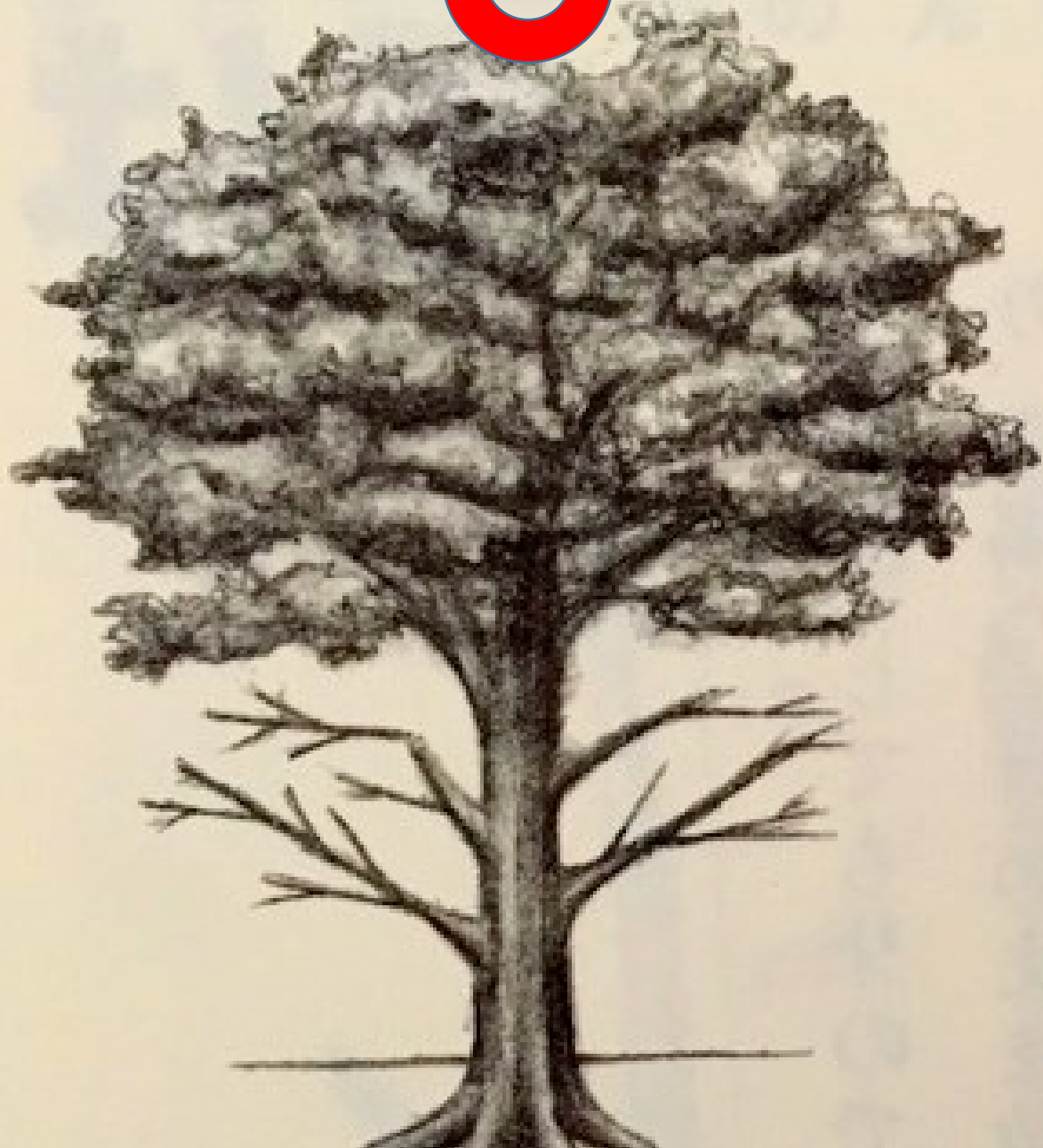






100 c m









14年程度の間に二段根が発達した  
(飯田造園)

当初盛り土の取り除きで考えていた



二段根を生かす方法に変更した





1月13日～3月24日

3月2日

堀 浩一

